

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立九条南小	学校	児童数	50
----------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.58	17.88	32.78	38.70	34.36	9.29	151.00	17.46	50.59
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.39	17.65	37.09	38.30	33.75	9.69	149.18	12.59	54.55
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

本校の男子の体力合計点は、大阪市平均より0.54点、全国平均より1.94点低く、特に反復横とびと20mシャトルラン全国平均を下回っている。具体的には、反復横とびは1.96点、20mシャトルランでは12.54点も低い成績を示している。一方で握力は全国平均より1.57点、50m走は0.21点、立ち幅とびでは0.58点高い成績を示しており、上体起こし、長座体前屈では全国平均とほぼ同等の成績を示している。運動やスポーツに対する好意度では、男子は「好き」と答える割合が全国平均より12.1%低く、1週間の総運動時間では「0分」の割合が全国平均より0.5%低く、「420分以上」の割合が2.2%高い。女子の体力合計点は、大阪市平均より2.08点、全国平均より0.63点高く、特に立ち幅跳び、50m走で全国平均を上回っている。具体的には、立ち幅跳びでは全国平均を6.05点、50m走では0.08点上回っている。一方、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とびでは、全国平均とほぼ同等の成績を示している。運動やスポーツに対する好意度では、女子は「好き」と答える割合が全国平均より16.7%低く、1週間の総運動時間では「0分」の割合が全国平均より14.7%高く、「420分以上」の割合が2.4%低い。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度は、「パワーアップDAY」や「ボール蹴ってもいいDAY」、「耐寒かけ足」や「長縄・短縄週間」等の体育的行事を実施することで、楽しみながら身体を動かして基礎体力の向上を図ってきた。また、めあてをもって運動に取り組むことができるように、学習カードを効果的に活用してきた。夢授業においてオリンピックをゲストティーチャーに招き、専門的な見地からの指導も取り入れてきた。休み時間には、学級担任を中心に積極的に外遊びやみんな遊びを啓発しすべての子どもたちが身体を動かす機会をたくさんもてるような工夫を図ってきた。しかし、男子の体力合計点が全国平均よりも低いことから、握力や長座体前屈などの特定の項目でのトレーニングを強化し、全体的な体力向上を目指す。また女子の運動やスポーツを好む割合が全国平均よりも低いことから、女子が楽しめる運動プログラムやイベントを増やし、運動への参加意欲を高める取り組みが必要と考えられる。